

平成30年度

どしよしつ

牟礼南小学校

図書室発行



図書室だより



しりとり読書に挑戦してみよう!!

2018年秋の読書週間「ホッと一息本と一息」です!

今年の秋の読書週間の標語は「ホッと一息本と一息」となっています。

牟礼南小学校では、10月9日(火)～10月29日(月)までを読書月間とし、図書委員会が楽しいイベントを企画します。ぜひ、参加してくださいね。



1～3年生 読み聞かせ

朝の読書タイムに1～3年生の教室に読み聞かせに行きます。また、お昼の放送の時間におすすめの本を紹介し、どんな本を読んでもくれるのでしょうか?お楽しみに～!



3～6年生 ビブリオバトル

これも今回初登場の企画です。発表者(バトラー)が「おすすめの本」の魅力(3分)で紹介し、参加者(発表者と観戦者)全員で「チャンプ本」(一番読みたくなった本)を投票で決めるゲームです。3年生以上から発表者(バトラー)を募集します。本が好きな人はチャレンジしてみてください。発表者には参加賞、チャンプ本になった人は表彰します。

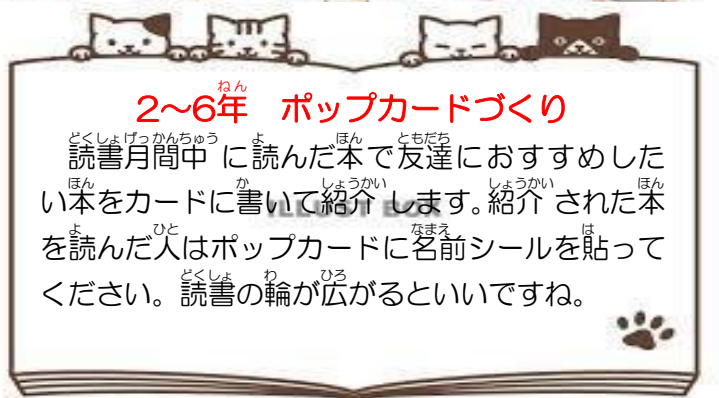
しりとり読書

図書委員のアイデアによる新しい企画です。本の題名しりとりをします。自分が好きな本からスタートして、しりとりになるように本を選んでください。1・2年生15冊、3・4年生10冊、5・6年生は7冊読めばゴールです。ゴールできた人には図書委員手作りしおりをプレゼントします!



2～6年生 ポップカードづくり

読書月間に読んだ本で友達におすすめしたい本をカードに書いて紹介します。紹介された本を読んだ人はポップカードに名前シールを貼ってください。読書の輪が広がるといいですね。



他にも先生方によるシャッフル読書

読書月間中にクラスで一番多く本を借りた人に多読賞としてプラス1券

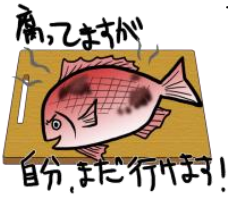
ザック先生の読み聞かせタイム(木曜日の昼休み、図書室で)などがあります。

図書室でお待ちしています!



国語「ことわざブックを作ろう」

4年2組さんがことわざの意味を調べ、そのことわざを使った文作りの学習を図書室で行いました。図書室の本だけでは冊数不足なのと同じ本に偏るので、県立図書館や市立図書館からも「ことわざ」に関する本を借りてきました。自分が調べてみたい本を選び、これと思うことわざの意味をワークシートに書きうつし、多い人は4枚くらい書いていました。普段は手に取られることの少ない8類(ことば)の本を熱心に読み、興味のある人は教室に持ち帰りました。ことわざの「おもての意味」と、奥にかくされた本当の意味、「うらの意味」でよくわかるように説明されている本。みなさんと同じ子どもがかいた楽しい絵がいっぱいっている本。インターネットや、全国の小学校をたずねて募集した創作ことわざ、学校や家庭で生まれた新しいことわざがのっている本。同じ意味の「英語のことわざ」がのっている本では外国の文化との違いを知ることができます。この機会に、いろいろなことわざの本を読んで、ことわざを現在のものに置きかえて「ことばあそび」をしてみるのもいいですね。



郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」

菊池寛は小学校時代から読書が大好きな少年でした。中学校時代、市立図書館の蔵書2万冊のうち、中学生の読みこなせるものを全部読破したと言われています。後年、「作家としての学問の八分までは図書館でした。」と述べています。



6年1組さんから菊池寛の読み聞かせリクエストがあり、『菊池寛 児童文学作品集(小学校版)』から『うばすて山』を紹介しました。紙芝居『三人兄弟』は図書委員会渡邊さんの推薦で馬場さんが読んでくれました。クラスの友達による紙芝居ということで、みんな興味津々で聞いていました。



読書月間も始まるので、『菊池寛 児童文学作品集(小学校版)』40冊ほどを6年1組から巡回していきます。朝の読書タイムや休み時間に手に取って、好きなお話を見つけてほしいと思います。



『菊池寛 児童文学作品集(小学校版)』の中のお話です。

